



1/6(火) 地域の安全のために 消防出初式

1月6日、浦添消防本部で市消防出初式が行われました。消防職団員、女性防火クラブのメンバーが参集し、やすらぎに満ちた安心安全な街づくりに取り組める浦添市を目指し、決意を新たにしました。当日は、救助隊と消防団員による展示訓練や、幼年消防クラブによる演舞が行われました。

一日消防長を務めたてだこレディの友寄由希乃さんは「私たち市民も救命講習などに参加し、地域で予防をしていかなければならない。地域の安全のためにがんばりたい」と語りました。



1/6(火) 2015年新年祝賀会 「新年の慶びを思いやりにかえて」

1月6日、2015年新年祝賀会が浦添市民体育館で開かれ、約1,500人が参加しました。

松本市長は「市民協働のしっかりとした土台をつくるため、市民意見提案提出制度の導入など、より開かれた市政を目指し、全職員一丸となって邁進して参ります」と、まちづくりへの抱負を語りました。

今回から、入場券売り上げの一部は社会福祉に役立てられます。



12/16(火) 浦添市教育委員会と沖縄大学の 連携・協働に関する協定式

12月16日、「浦添市教育委員会と沖縄大学の連携・協働に関する協定」が結ばれました。本市にとっては、大学の教員の専門性を活用し、子どもたちへの支援の充実につながり、大学にとっては、学生がインターンシップを通して学校現場で学び、実践的指導力の育成を図ることができます。今後、浦添市教育委員会と沖縄大学は、双方向性の連携・協働を図りながら、地域協働体制を構築していきます。



12/17(水) 「浦添市子ども・子育て支援の未来 ～待機児童解消に向けてこれからの保育・教育を考える～」

12月17日、「子ども子育て支援新制度の説明会及び意見交換会」が開催されました。

当日、会場には市民や保育関係者ら合わせて約150人が来場し、市長講話や新制度の説明に真剣に耳を傾けていました。

意見交換会では「待機児童解消に向け、量だけでなく、質の確保も」「平等に保育を受けられる環境整備を」など、活発な意見交換が行われました。



12/18(木)・26(金) 浦添市民に勇気を与えた2人に輝くてだこ市民賞

12月18日と26日、アスリートとして活躍する2人に輝くてだこ市民賞が授与されました。

てだこ市民賞第24号に選ばれたのは、仲里進さん。ウィルチェアラグビー日本代表として仁川アジアパラリンピック大会に出場し、金メダルを獲りました。

第25号は、^{あきの}照屋顯乃さん。照屋さんは、4つの障がいを持ちながらも27年間水泳を続け、昨年行われた第14回全国障害者スポーツ大会50メートル背泳ぎで見事金メダルに輝きました。



12/21(日) 各自治会でクリーン活動とふれあい活動

12月21日、大人が子どもと関わり「地域の子は地域で守り育てる」の共通認識のもと、市内各地域でクリーン活動・ふれあい活動の「御万人すりていクリーン・グリーン・グレイシャス(CGG)運動」が展開されました。当日、各地域においては道路や空き地等で清掃活動を行なうほか、清掃後は地域の親睦を深めるため、各自治会で餅つき大会やクリスマス会などの催しが行われました。



12/12(金) 統計グラフコンクールに9人の入賞

12月12日、沖縄県庁で「平成26年度沖縄県統計グラフコンクール入賞者表彰式」が行われました。統計グラフコンクールは、統計知識の普及と統計の表現技術の向上を図るため毎年開催されています。

今回、前原萌愛さん、長嶺和樹君、宮良英莉美さん、宮里雅さん、神谷優歌さん、渡慶次貴裕君、久手堅弘憲君、宮城凱君、鶴町利博君の計9人が入賞しました。

